

天保十三年（一八四二）

伊勢・西国道中記《抜粹》

※当館寄託 上馬場濱野昭家文書二四二九

【翻刻】

（前略）

一、追わけ迄 拾五丁

此所より長谷寺江行戻りなり、柳屋へ
荷物預け置参詣いたし

一、長谷寺迄 四拾弐丁

西国八番本尊十一面觀世音

一、みわまで 壱り

三輪大明神御神木七抱半杉

一、丹波市迄 弐り八丁

廿一日泊り、柁屋藤助代弐百文

下拙は七在所廻り不申候へ共、みわより柳本・
たつた・ほうりゆうじへ通べし

一、帯解迄 壱り半

入口日本第一地藏尊あり

一、奈良樽井町迄 近壱り

廿二日朝四ツ時着、手前ニ而宿引多し

片かわ町小刀屋善助

代弐百文

昼食致し安案内九人ニ而百廿四文、猿沢池

水半分魚半分、夫より若宮・春日・八幡

社御神木楠大木より二月堂・子安地藏

尊・大仏并阿弥陀・執力士・六角堂

西国九番本尊不空觀世音

（後略）